

会 平沼理事長を留任

道南砕石協組と日砕協函館

【函館】道南地区砕石

協同組合（13社）と日本砕石協会函館支部（14社）は15日、函館市内の同組合会議室で2020年度通常総会を開いた。西団体の任期満了に伴う役員改選では平沼昌平理事長

・支部長（全岡砕石工業）の留任を決定。このほか収支予算案、事業計画も承認した。

平沼理事長・支部長は「各事業所の労働災害防止はもとより、年々予想を超える自然災害や、ウイルス感染症予防対策などにより一層、組合員一体となった取り組みが求められる」と述べ、情報や

技術の共有、相互協力をあらためて呼び掛けた。協組の事業計画では、採取跡地の緑化保証、災害防止パトロール、リスクアセスメントと危険予知活動の充実、関係官公

庁への陳情・要請、組合員への指導・教育などを承認。支部では「保安の確保」「環境との調和」「技術の

向上」「各種業界との協調」「人材の育成」の5つを引き続き重点課題とし、防災防止活動や掘削作業主任者能力向上講習などの教育情報事業を推進する。

役員改選では平沼氏のほか、佐藤和浩専務理事・副支部長と4人の理事、2人の監事・会計理事を留任し、理事に坂上忠義氏（正和運輸）を新

任した。